

美園スタジアムタウンビジョン2050

【概要版】

2022年1月

みその都市デザイン協議会・美園タウンマネジメント協会

ビジョン検討の背景・目的

- さいたま市美園地区では、道路整備や宅地造成、住宅・店舗等の建設など、市の副都心の一つとして大規模な新市街地形成を行いながら、〈スポーツ、健康、環境・エネルギー〉をテーマとした拠点づくりが進行中である。「浦和美園駅」の開業や「埼玉スタジアム2002公園」(以下、埼玉スタ)の開設、「みそのウイングシティ」の土地区画整理事業施行開始から20年を迎え、子育て世代を中心とした人口増や、企業立地等により美園に関わるプレイヤーは年々増加している。
- 一方、この20年間でICT等技術革新も急速に進展し、環境意識、健康志向の高まりや、ライフスタイル・価値観の多様化など大きな変革期を迎えており、ますます複雑化する地域課題に対応しながら〈美園〉を成長・成熟させ、都市拠点形成(定住人口・交流人口の増加)をより一層推進しながら持続可能な地域社会を構築していく必要がある。
- そこで、本地区で活動を進める〈公民+学〉の連携組織：「みその都市デザイン協議会」および「美園タウンマネジメント協会」では、次の時代のまちづくりに向けて、これまでの取組の蓄積も活かしつつ、首都圏郊外に位置する本地区の目指すべき〈将来像〉を共有しながら、〈美園〉に関わる様々な主体の連携・参画・協働を促進し、各種取組を一層加速化していくための指針として本ビジョンをとりまとめた。
- 本ビジョンは、まちづくりの基本理念を先行的にとりまとめ策定した『美園スタジアムタウン憲章』(2017年4月)を、前述の背景を踏まえ発展・充実させた〈提言〉となっており、今後本ビジョンを敲き台に、連携・参画・協働に基づく各取組を深めていきながらビジョンの更新・洗練を図っていくものとする。

対象区域と目標年次

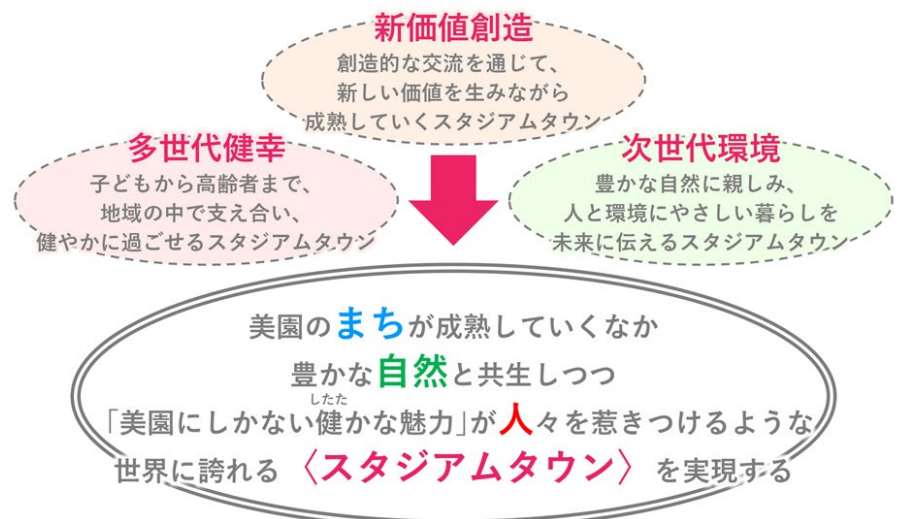
- 美園に多く転入している30~40歳代の現役世代が高齢となり、世代交代が進む2050年を見据えた将来像を設定し、その将来像実現に向けた今後10年間(2030年まで)のまちづくりの方針・戦略をまとめる。



【下図】国土地理院「電子国土Web」

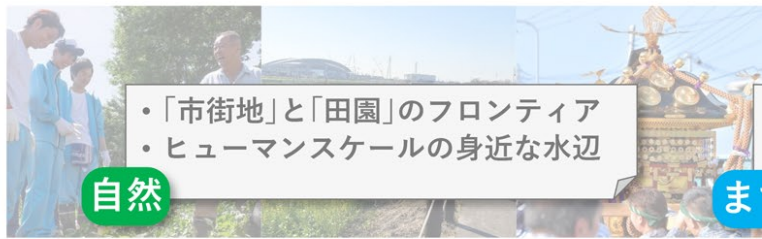
ビジョンの基本理念

- 『美園スタジアムタウン憲章』のキーワード「新価値創造」・「多世代健幸」・「次世代環境」を引き継ぎつつ、次の基本理念を設定する。



美園の魅力

●本地区の魅力を、「自然」・「まち」・「人」の観点で整理する。



将来像

●地域の魅力を最大限活用した将来像について、右の通り設定する。

- * ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に良好な状態。
- * 美園版アーバンビレッジ：「農」や「植木」などの長年の歩みと、美園発の産業や先端技術とが融合し、訴求力のある新たな価値や持続可能なコミュニティが育まれるような、市街地と田園のフロンティアである美園特有の風土・文化を醸成していく事を総称する造語。
- * グリーンインフラ：米国で発案された社会资本整備手法で、自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用するという考え方を基本とする。

将来像 ① 埼スタを核に、過ごす人がおのずと〈ウェルビーイングになるまち〉

- 健康長寿が期待される人生100年時代の到来をチャンスと捉え、先端技術・知見を積極的に導入しながら、美園に現に存するハード・ソフトのインフラ資源を最大限有効活用し、スポーツ・健康づくりに関わる地域コミュニティの輪を育てていく。
- 地域内外を問わず多彩なプレイヤー一人ひとりが自分らしく美園に関わりを持ちながら日々を過ごすことで、おのずと〈ウェルビーイング〉になるようなまちを目指す。



まちづくりの方針・戦略

●将来像の実現に向けた、今後10年間(2030年まで)のまちづくりの方針・戦略を次の通り設定する。

方針 1 「埼スタ」を核にしたスポーツ・健康文化を伝統・誇りに育てる



「埼スタ」を核としながら、一人ひとりが日頃からスポーツや健康づくりに触れ合うことで健康的なライフスタイルを実現するとともに、躍動感ある「スポーツのまち」としてのブランドを確立し、それらを美園の新たな文化として伝統・誇りに育てる。



方針 2 「埼スタ」を核に、まちの構造を健幸増進装置化する



「埼スタ」を筆頭に、まちのスポーツ・健康増進機能を強化することで、まちの構造を健幸増進装置化する。



方針 3 多彩なライフスタイルの土台となり、健幸を支え合う基盤をつくる



今後一層多様化が見込まれるライフスタイルの受け皿となる環境を整えつつ、その中で健幸も育まれるような環境を構築・発信する。

美園の魅力

- 世界の「埼玉スタジアム」がある
- 広い空が見える「ゆとりある」郊外住宅地

- 浦和レッズをはじめとしたスポーツのソフトインフラ
- 美園発の多才な人材／多彩な活動

ち

人

将来像

②

伝承と先端技術が織り成す 〈美園版アーバンビレッジ〉

●美園のポテンシャルが引き出され融合し、豊かな自然と都市の利便性を感じながら暮らせるとともに、訴求力のある新たな価値や持続可能なコミュニティが育まれるような、美園特有の風土・文化が醸成されるまち〈美園版アーバンビレッジ〉を目指す。

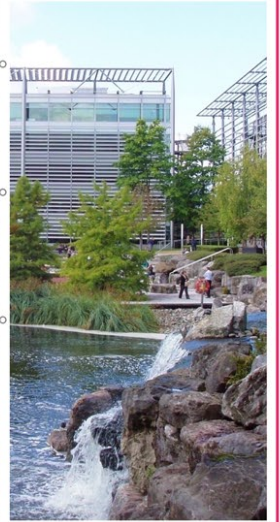


将来像

③

究極のグリーンインフラ 〈自然に溶け込むまち〉

- 川に沿った「風のみち」や見沼の貴重な環境資産を未来へ継承していく。
- ゼロカーボンの大きな目標に向けて貢献していく、環境・エネルギー分野のフロントランナーとなる。
- 自然に逆らわず自然を生かした究極のグリーンインフラ〈自然に溶け込むまち〉となることを目指す。



方針

4

美園の個性を磨き・育て、 都心居住者をおもてなす



見沼田んぼや大門宿の歴史等の地域資源が持つ個性を磨き・育て、東京方面からの小旅行先として来街者を惹きつける。

方針

5

日々の暮らしに「農」を取り込む



日々の暮らしの中に見沼田んぼをはじめとした「農」を取り込み、美園でしか味わえないスローな暮らしを実現する。

方針

6

意欲的なチャレンジから 「美園発」を創出し、育てる



地域内外のプレイヤーの意欲あるチャレンジを支援する仕組みを整え、地域で支えながら「美園発」を生み・育て・飛躍させることで、美園の価値を進化させ続ける。

方針

7

「有事に心強く、平時にうれしい」 自然・まちと人との信頼関係をつくる



自然災害、感染症など突発的な有事へ備えると同時に、その機能が平時には日々の暮らしやコミュニティの質を高めるような、自然・まちと人との関係性を構築する。

方針

8

まちのグリーン成長を促進し、 ゼロカーボンへ貢献する



多角的にまちのグリーン成長を促進し、2050年目標のゼロカーボンへ大きく貢献することで、美園の付加価値につなげる。



まちづくりの方針・戦略 (つづき)

方針	戦略
1 「埼玉スタ」を核にしたスポーツ・健康文化を伝統・誇りに育てる	1-1 スポーツ文化で「美園人」の健康度を向上
	1-2 スポーツ文化を育むコミュニティの醸成
	1-3 「スポーツのまち」としてのブランド力強化
2 「埼玉スタ」を核に、まちの構造を健康増進装置化する	2-1 「埼玉スタ」周辺を核としたスポーツ・健康増進機能の強化
	2-2 3km回廊のウォークラブル先導フィールド化
	2-3 医療・福祉・文教拠点を核とした医療インバウンド促進
3 多彩なライフスタイルの土台となり、健康を支え合う基盤をつくる	3-1 多彩なライフスタイルを支える環境整備
	3-2 健康を支え合う活動のネットワーク化
	3-3 「脱クルマ依存」型生活行動を支える域内モビリティ環境の構築
4 美園の個性を磨き・育て、都心居住者をおもてなす	4-1 見沼田んぼの「東の玄関口」機能の充実
	4-2 「大門宿」の記憶の継承
	4-3 鉄道沿線・近隣地域との連携・交流の促進
5 日々の暮らしに「農」を取り込む	5-1 「農」「食」「土」を身近に触れる魅力の強化
	5-2 「農」「食」文化の育成・発信
	5-3 先端技術を活用した「農」の高度化推進
6 意欲的なチャレンジから「美園発」を創出し、育てる	6-1 時代に応じてしなやかに成長する美園コミュニティ
	6-2 タマゴを呼び込み孵化させる「実験都市」の構築
	6-3 「This is MISONO」を世界に発信
7 「有事に心強く、平時にうれしい」自然・まちと人との信頼関係をつくる	7-1 綾瀬川の水辺に「正しく」親しむ環境の構築
	7-2 共助につながる、平時からの「チーム美園」の構築
	7-3 ゆとりある空間の「確保」と「日常的な利活用」の推進
8 まちのグリーン成長を促進し、ゼロカーボンへ貢献する	8-1 見沼のみどりをまちへ迎え入れ、広げる
	8-2 駅前まちづくりの推進（都市構造のコンパクト化）
	8-3 持続可能な環境先進モデルの構築

※各戦略の詳細は本編参照

活動の指針

一人ひとりがまちづくりのプレイヤーであり、サポーターとなる。



●住民・地権者、企業、大学等の専門機関、行政機関など【公】【民】【学】それぞれの立場で「美園」に係る様々な人々や団体が、美園の“将来像”を共有しながら、オープンかつフラットな連携・協働のもと、地域の魅力を生かした事業・活動を通じて世界に誇れる〈スタジアムタウン〉づくりを機動的に実践する。

公	地域社会に必要な公共・公益的サービスを担う、自治体やNPO・公益法人等
民	地域の活力と魅力の向上を担う、住民や地権者、地域団体、民間企業等
学	専門知識や技術を基に先進的な活動を担う、大学などの教育・研究機関、専門家等

■お問い合わせ先（みその都市デザイン協議会事務局）

※ビジョン本編等詳細は右記QRコードをご参照ください。

一般社団法人美園タウンマネジメント

〒336-0962 さいたま市緑区下野田494-1 オークリーフ1F

☎ 048-812-0301 ✉ info@misono-tm.org

さいたま市浦和東部まちづくり事務所

〒336-0963 さいたま市緑区大門2564-6

☎ 048-878-5143 ✉ urawa-tobu-machidukuri@city.saitama.lg.jp

